



①牛（畜産）②牧草

日向との市境には牛舎や鶏舎がたくさんある。お話を伺った酪農家の方は、肉用牛である和牛（黒牛）を34頭飼育しているとのことだった。周辺では、家畜の餌となる牧草も栽培されていた。近くの土地で行うことで、運搬する時間やコストの削減に繋がっているのではないかと考えられる。



③ソーラーパネル



④そば



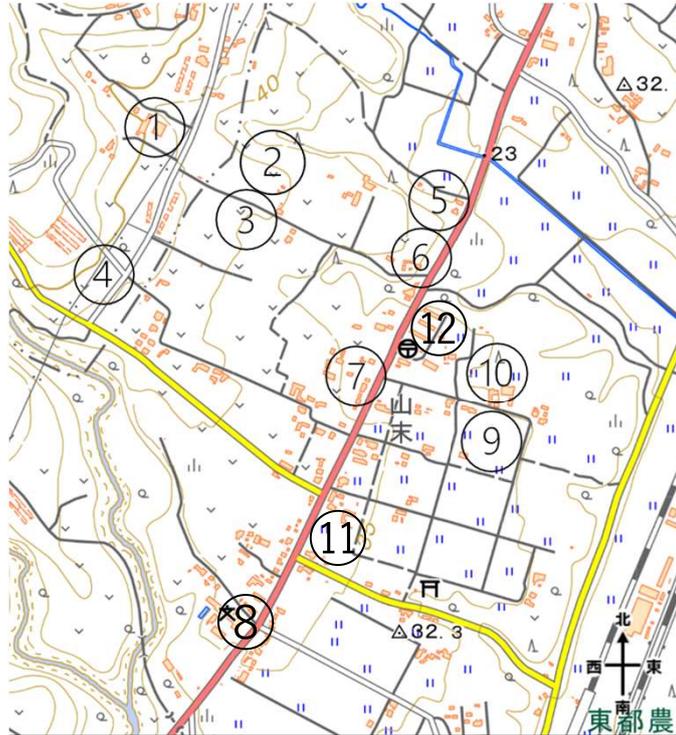
⑤三輪青果

国道10号線沿いに位置する三輪青果は昭和時代から地域とともに発展してきた青果店である。昔は国道10号線が主要な道路であったため多くの人がこの場所を訪れていたが、最近は高速道路などの別の道路ができたため訪れる人が少なくなっている。しかし、この青果店は地元で採れた野菜や果物を他の青果店よりも低い値段で販売しており、地域に寄り添った青果店だと言える。



⑥居酒屋こころ

数年前までは居酒屋として夜間にも営業していたが、新型コロナウイルスの影響によって現在は昼間のテイクアウトを専門としている。夜間営業できていた頃と比べると、客足が戻らず苦勞しているという話だった。揚げたての唐揚げをいただいたが、味が染み込んでいて食感も良くとても美味しかった。



⑦山末営農研修館



⑧都農東小学校



⑨水田



⑩讃岐うどん一の茶屋

地元の口に合わせた柔らかめで少し甘めの味付けな人気のうどん屋さん。営業時間は月～水・金～日の10:30-15:00、17:00-20:00である。12時前後になるとお客さんがかなり増え、満席状態になっていた。店主の方はメニューについて質問すると丁寧に説明して下さり、お人柄がうかがえた。



⑪トマト

都農町ではトマトが特産品となっており、暖かい気候を活かしたビニールハウス栽培で生産している。私たちが伺ったトマト農家では、ノーマルのトマトを栽培されており、トマトの選別を行い、一般的な旬である夏を迎える前の6月ごろまでJA尾鈴に出荷している。都農町には多くのトマト農家がいらっしゃり、各々で品種の異なるトマトを生産している。



⑫ビニールハウス

国道10号線・国道302号線は交通量がとても多かったが、脇道に入ると車はあまり通らず、田や畑ばかりだった。場所によって様々なものが栽培されており、都農町は第一次産業が盛んであることを実感した。また、北に行くと鉄塔を境に日向市となっていた。歩いていると途中で道がなくなっている箇所もあった。今回の実習を通して印象的だったことは、地元の皆さんの優しさである。挨拶をしたら「何してるの?」と声をかけてくださったり、話しかけたらわざわざ足を止めてくださったり、トマト農家の方には採れたてのトマトをいただいたりもした。現地の方々の声をたくさん聞くことができ、とてもありがたかった。とある現地の高齢の方からは昔はもっと農家があったというお話や、今はなにもすることがないというお話を聞き、人口減少や高齢化などが関わっているのではないかと感じた。かつてのように農業を発展させるためにはどうすればよいか、高齢の方が今より楽しく生活できるようにはどうすればよいかと考えた。都農町の魅力を活かしながらこのような課題を解決していければと思った。